



水害や火災など心の痛むニュースが多かった10月でしたが、ふたば保育園の子どもたちは元気いっぱいに登山やマラソンに取り組み、保護者の方々を始め、保育士たちも励まされたように思います。

マラソン大会のゴールでは、ひよこ組の子どもたちも保育士と一緒にパチパチと手を叩いて声援しました。年長児たちの真剣な表情や力強い走りが、小さいひよこ組の子どもたちにも伝わってきたのか、じっと見つめて目を離しませんでした。まわりの人たちの喜びや感動の思いと一緒に分かち合っているかのような表情でした。

片言や表情、行動で自分の思いを表現する力も出てきています。子どもとゆっくり向き合って受け止め、丁寧に関わっていこうと思います。

☆ “いない いない ばあ” ができるよ!

今まで、保育士がいないいないばあをするのを見て、笑っていた子どもたちですが、真似をしながら、自分でできるようになりました。

ハンカチを頭から被って顔を隠し、ハンカチを取って「バァ」と言います。自分が楽しいだけでなく、相手も笑わせて一緒に楽しもうとする心の成長が見られます。あっぷっぷ!とだるまさんのにらめっこもするようになり、表情の可愛さと共に表現力が豊かになってきました。



☆ お母さん! 応援しています! ある日の連絡帳より

(育児に家事にお仕事と頑張っているお家の方の連絡帳には、お子さんへの愛が溢れています。ちょっとご紹介してみました。)

ゆうまくんのお母さんより

“最近、少しイヤイヤ期に足をふみ入れているのかな?と感ずることが多く、お風呂後に服を着るのを嫌がり、歯磨きが特に嫌いで、すごい力で抵抗します。地団駄を踏むことも多いですが、保育園では大丈夫ですか。”

(お母さんなら、思いを100%出せるのでしょうか。大事なイヤイヤ期を優しく受け止めていらっしゃるんですね。保育士より)

☆ 新しいお友だちの紹介



S・T ちゃん

一緒に仲良く
遊びましょうね!

☆ 新聞紙で遊んでいます。

つまんだり、引っ張ったり、かさねたりして手や指先を使って遊ぶことが出来るようになってきました。新聞紙を広げると自分でビリビリ破ったり、くしゃくしゃにしたりして紙の感触を面白がっています。破った紙が山になると、中にもぐったり、隠れたりして子どもたちは新しい遊び方を見つけました。

☆ お願い

朝夕の冷え込みで子どもたちは長袖の服になっています。お天気が良いと風間は暖かく、活動量も大きいので、薄着や半袖でも大丈夫です。外遊びの時はスモックを着たいと思います。調節の出来る着替えの服の用意をしていただくと助かります。



2019. 11. 8(金)

「砂あそび、大好き」

天気の良い日は園庭に出るようにしています。園庭に出ると砂場へ走って行きます。ままごとのフライパンやバケツ、鍋を入れ物から取り出しては、お気に入りの場所、滑り台の横のカウンターにもっていき、早速砂遊びが始まります。フライパンに砂を山盛り入れては「せんせーい、出来たよ」と目を輝かせて見せてくれたり地面に落ちている赤い木の実を拾って来ては、小さな可愛い手で砂に混ぜたりして、美味しいご飯を作っています。「ご飯できたよ」「美味いよ」「混ぜ混ぜするよ」等、子ども同士の会話も弾んでいます。もう少し、暖かい日には砂遊びを楽しもうと思っています。



「リンリンリン」

すずを使って、リズム遊びをしました。保育士の歌う「どんぐりころころ」や、「山の音楽家」「大きな栗の木の下で」に合わせて、すずを鳴らしています。子ども達は、鈴を振って遊んだ後は、そっと元の場所にもっていききました。今後も子どもたちと、楽器を使った遊びを楽しんでいき、発表会に繋げていきたいと思っています。



「ありがとう」

給食の食事の時、保育士が「どうぞ」と、お皿やお茶碗を配膳すると、子ども達が「ありがとう」と、応えるようになりました。保育士が、日々、配膳をする時に「どうぞ」「おいしいよ」等、言葉をかけていた様子を見て、身についたのかなと今更ながら、保育の環境の大切さを感じています。

子ども達の大好きな絵本 「やさいさん」



最近のこどもたちのブームは、「やさいさん」です。「やさいさん、やさいさん、だあれ？」と、繰り返しのフレーズから色々な野菜が出てくる絵本がお気に入り、野菜が出てくる順番や野菜の名前を覚えている子どもが多く「だいこんさん」や「にんじんさん」と言っています。給食の時間になり「やさいさん」で、出てきた野菜があると、スプーンですくい「せんせーい、だいこんさんあったよ」と、保育士に話しかけたり「これはー？」と保育士に名前を聞いている子ども達です。



☆「がんばれー」

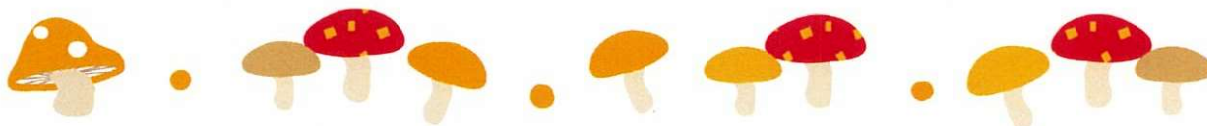
先日、以上児クラスはマラソン大会がありました。

すみれ組は遊戯室から応援をしました。年長の子もたちがスタートしたときは、小さな声で応援していた子どもたち。しかしコースを走って戻ってきたお兄ちゃんお姉ちゃんたちを見て「がんばれー！！」と大きな声で応援したり、拍手したりしていました。





一段と日が暮れるのが早くなり朝晩の冷え込みが、秋の深まりを感じさせます。ちゅうりっぷ組の子どもたちは先日、自分で絵を描き作った旗を持って、松尾町公園までマラソン大会の応援に行きました。公園に着くと“マラソンの子どもたちはどこからくるのかな？”といった表情で辺りを見ていました。『わっしょい！！』と元気な掛け声が聞こえてくると「あ！あっちから来たよ。」と指さし「がんばれー」と旗を振りながら大きな声で応援していました。保育士が「今度はみんなも走ろうね。」と伝えると「お兄ちゃんたちみたいに走る！」と頼もしい言葉が返ってきました。園庭に出ると「わっしょい」と掛け声を言いながら芝生の周りを走り、来年に向けて練習が始まっています。



自分で出来るよ

給食を食べ終わるとパジャマに着替えてお昼寝の準備をします。保育士が手伝わなくても自分でパジャマに着替え脱いだ衣服は畳んで片付けることが出来ます。寒くなり長袖になると今までは簡単に脱げていた袖が脱ぎにくくなっています。腕を上挙げてみたり試行錯誤しながら諦めずに脱いでいます。「できた」と脱げたときの表情は輝い見えます。少しゆとりのある服の方が脱げやすいようです。

元気に過ごせるように…

冬に向け1日の寒暖差が大きくなると感染症も増えてきます。室内の温度や湿度に気をつけ換気をしたり、鼻水が出ている子どもに注意して一緒にティッシュで拭き、手洗いをするなど清潔にしたり予防したいと思います。ご家庭で体調の変化があった時は保育士にお知らせください。

バスに乗ってくださーい

ある日の午後のことです。

廊下にユニットサーフを出しておくと、座って前後に揺らしたり、「お買い物に行ってきます」と言っておユニットサーフを手で押して廊下を歩いたり思い思いに遊んでいました。「バスに乗ってください」とゆまちゃんといぶきくんがユニットサーフを並べて座席に見立て、バスごっこを始めると周りの子どもたちもユニットサーフを並べ始めました。あっという間に満席のバスの出来上がりです。みんなでユニットサーフに座り前後に揺らしてお買い物に出かけていましたよ。

思い思いに豊かな想像を膨らませて遊びの世界が広がり、子ども同士のつながりも遊びの中で増えていきます。





発行：令和元年11月8日（金）

園庭の木々も葉を落とし、秋が深まり朝晩は肌寒い日も多くなってきました。皿倉登山やマラソン大会を終え、心も体も強くなった子どもたちは、そんな寒さに負けず、「早く外で遊ぼう！」と元気いっぱいにあそんでいます。行事を通してまた一つ成長した子どもたちですが、まだ自分の思いを言葉にして上手く伝えられずトラブルになってしまうこともあります。自分の気持ちを自分なりの言葉で表現し、また相手の気持ちにも気付くことができるような思いやりの心の成長も支えていきたいと思っています。

うんとこしょ♪どっこいしょ♪

芋ほりをしました。「大きいお芋あるかな？」と楽しみにしていた子どもたち。芋を掘り始めると、大きなお芋に歓声をあげたり、細長いお芋に笑ったり「へびみたいなのとれた！」「これは玉ねぎみたい！」と土や芋の感触を楽しみながら、夢中で芋を掘り「たくさんとれたねー」と秋の実りに大喜びでした。



いち・に・さん・し！！

今月から毎日昼食前に乾布摩擦とマラソンをしています。初めての乾布摩擦に、最初は戸惑っていた子どもたちでしたが、今では「いち、に、さん、し！」と元気なかけ声が、これから北風とともにやってくる寒い冬を吹き飛ばそうといわんばかりに響いています。

みんなで力を合わせて登るぞー！

爽やかな秋晴れの中、皿倉山に登りました。「こんなお山登るの初めて！」と期待を膨らませながら、自然あふれる山道に「虫いるかな？」「どんぐりもいっぱいありそう」と会話を楽しんで歩いていた子どもたち。疲れがみえ始めると「もうすぐ着く？」「ひまわりさんとたんぼぼさん見えなくなったね。」と少し不安げな様子でしたが、6合目で飴を食べると「パワーが出てきた！」「まだまだ歩けそう！」と笑顔も見え、みんなでうたをうたったり「もうちょっとだよー」と励ましあったりし「こんなに高いところまで登ったの？」「すごいね！」とそれぞれが達成感を味わいながら登りきることができました。保育園に戻ってくるとみんなで「はあー保育園に帰ってきたあ」「お山すごい高かったよね。」「でもみんな登れたね！」と登りきった喜びを確かめ合っていました。



わっしょいわっしょい！！

登山を終え、「最後はマラソン大会やね！」「お山も登れたから、マラソンも頑張ってる！」とマラソンに向けて気合十分の子どもたち。マラソン大会当日の朝、ゼッケンのついた体操服と鉢巻を身につけると、さらに力も湧いてきたようで、「頑張ってるぞー！！」「早く走れそう！」と意気込み、スタートの合図で勢いよく保育園を駆け出すと、大きな声で“わっしょい”とかけ声をかけながら走りだしました。走っている途中、何人かが集団から遅れてしまうと、その様子を見た他の子どもたちからは「頑張れー！」と励ます声があがり、きつそうな表情で下を向き歩いていた子どももその声に顔を上げ、力強く走り始めました。子どもたちは顔を真っ赤にし、時折疲れた表情もしていましたが、保護者の方や、地域の方からの力強い声援でパワーが加わり、無事全員でゴールすることができました。“疲れているかな”という保育士の心配をよそに、3キロという、決して短くないコースに走り切った子どもたちは、「まだ走れそう！」「みんなで走れたね！」とゴールできたことを喜び、達成感や高揚感にあふれた表情をしていました。

登山やマラソンを経験するなかで、最後まで諦めずやり遂げようとする強い心や、友だちを思いやる優しい心の成長も感じることができ、一生懸命にゴールを目指す姿に胸が熱くなりました。子どもたちの心身の成長を大切にし、これからの将来の基礎としてさらに成長へと繋げていくことができるように支えていきたいと思っています。



ひまわりだより



令和1年11月8日(金)

『実りの秋』がやって来ました。さて、今年はどうな実が実ったのでしょうか？

爽やかな秋空のもと、「わっしょい わっしょい」と掛け声を掛けながら4キロを見事に走り切り、地域の方たちや保護者の方たちの応援と拍手の中、秋の体育祭りは無事に終了しました。いくつもの壁を乗り越えた子ども達一人一人の心には「自信」の実が膨らみました。これからも少しずつ膨らんでいく事でしょう。

園庭の花畑では、たんぼ組とひまわり組が種をまいて育てたコスモスの花が秋風に揺られ満開です。

芋畑で「うんとこしょ どっこいしょ！」

食事の後で畑に芋掘りに行きました。芋のツルがグングン伸びて畑一面覆っていました。保育士が引っ張ってもなかなか切れません。そこで「誰か引っ張って。」と、助けを呼ぶとすぐに駆けてきたひなた君。「うーん」と引っ張っていましたがびくともしません。ひなた君が「誰か手伝って！」と声を掛けると、えいじ君とあつき君がやって来て3人で「うんとこしょ どっこいしょ」と引っ張りっこが始まりました。その掛け声を聞き、みんなが集まって来て「うんとこしょ どっこいしょ」と大合唱です。何度も引っ張りやっとなツルが切れると子ども達はしりもちをついて「痛い！」でも、すぐに「アハハハ」と笑い声に変わりました。何本も長いツルを見つけて「うんとこしょ どっこいしょ」と引っ張りっこを楽しんでいました。やっとの事でツルを取り除き、芋を掘り始めると次々に大きい芋や小さい芋が掘れました。「先生、カボチャみたいのが掘れた！」と得意気にそう君が見せてくれました。掘ったさつま芋で芋比べをして遊びました。

秋の火災訓練に消防車が来たよ

6日の避難訓練後、高見消防署から消防士さんが来て下さり、消火器の消化訓練がありました。その様子を見ていたそう君が「中に何が入っていますか？」と質問すると、消防士さんが「今日は水ですが、本当はピンクの粉が入っています。」と教えてくれました。その後本物の消防車を見て消防車の前で写真を撮りパチリ！ひまわり組の中から将来、消防士さんになる子がいるかもしれませんね。

空気が乾燥している今の時季、火災が発生しやすい時季です。家でも火の取り扱いには十分気をつけましょうね。



皿倉山登ったよ

子ども達が「明日、皿倉山に登るよ。」と意欲満々で話していた登山が雨で28日になりました。当日体調も万全で登山にのぞみました。「一合目、二合目」の標識を探しながら歩いたり、「落石注意」の看板に気づき「先生、なんて書いてるの？」と質問したり、3歳の時とは違う目線で意気揚々と登っていきました。頂上近くでテレビ塔のアンテナを見て「あ、スカイツリーだ！」と、かなた君。いつか見た記憶があったのでしょうかね。



山の上の広場にゴール

広場に着くとお楽しみの時間です。こすもす組・たんぼ組さんとお弁当を広げると、「たこウイナーだ！」「キティちゃんの顔。」「唐揚げが入ってる！」と弁当自慢が始まりました。お腹いっぱい食べた後、木登りや警察と泥棒ゲーム・ねことねずみゲームをして遊びました。山を下りながら「来年はあのテレビ塔まで登るんだよ。」と伝えたと「よーし、頑張るぞ！」と早速スイッチが入っていた15名の子ども達でした。

乾布摩擦を始めました。長縄跳びで遊んだ後、園庭でタオルを片手に「1・2・3・4」

「2・2・3・4」と元気よく体をこすっていると、道を歩いていた方達が「元気がいいね。頑張ってる！」と声をかけてくれました。

ひまわり組担任
桑原、中西

たんぽぽだより 11月号



2019年11月8日(金) 発行

1ヶ月に渡る「ふたば体育まつり」が幕を下ろしました！

皿倉登山では、初めて山道を登り頂上をめざし、“やまびこさん”を歌ったり、すれ違う地域の方と挨拶を交わしたりしながら歩いていました。先頭を歩いていたはるきくんは、自分が落ち葉ですべりそうになったり、石がぐらついていることに気づいたりすると「ここ！気をつけてね！」と後を歩く友達に知らせていました。そしてその言葉は、一番最後まで伝達されていました。一人の思いやりが全員に伝わり、怪我をすることなく園に戻ることができ、クラスの結びつきが大きな成長となりました。

雨天で延期になった為、皿倉登山の2日後がマラソン大会となり、体調や体力が万全ではないのではと思いましたが、保育士の心配をよそに元気いっぱいの子どもたち。およそ5キロの道のりを「わっしょい！」のかけ声で走りきりました。

信号待ちでのちょっとした合間に、ふと後ろを向いてペースが遅れている友達を見つけて、「保育園まであと少し。頑張ろう」や「あと少しでみんなに追いつくよ」という友達同士の励まし合いと共に、保護者の方や地域の方々の方々の声援が、子どもたちのやり遂げる大きな力になったと思います。

この1ヶ月、目標に向かって取り組むことで、達成感を味わったり、友達という存在の大きさに気づいたり、思いやる心が育ったりと大きく成長したのではないかと思います。これらの経験を、これからの将来の人としての基礎としてさらに成長へと繋げていけるように支えていきたいと思ひます。

園庭のコスモスが咲きました。一輪、また一輪と日に日に花が開き、子どもたちは「昨日はまだつぼみだったのに！」と生長に気づいています。

土曜日、異年齢の友達と一緒に園庭で遊んでいた時のことです。3歳児の子どもが虫を捕まえようと探していると、コスモスの蜜を吸いに蝶が飛んできました。蝶が止まっている隙を狙って捕まえようとしていると、りさちゃんが「だめだよ！チョウチョは今ごはん中だからそっとしてあげて！」と教えていました。すると3歳の子どもは捕まえることをやめ、他の友達と「蜜のご飯食べに来たんだって」や「ご飯どうやって食べるか見よう」と話し、観察へと変化していました。

異年齢だからこそ、見ることでできた場面ではないかと思ひます。年長であるという自覚が生まれ、年下の友達のお世話をしたい気持ちや、教えてあげたいという気持ちが育ってきています。



5歳児担任：井上・本崎